

令和3年神奈川県  
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

保 育 の 心 理 学

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。  
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …



(濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) …



- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の手を使う行動A～Dを、一般的な発達における発現の順に並べた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 指差し
- B 把握反射
- C ハンド・リガード
- D リーチング

(組み合わせ)

- 1 B→A→C→D
- 2 B→C→D→A
- 3 C→A→B→D
- 4 C→B→D→A
- 5 D→B→A→C

問2 次の文は、乳幼児の認知発達に関する記述である。(a)～(e)の下線部分に関連の深い語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

0歳後半になると、(a) 目で見えた玩具を取ろうと思って手を伸ばして掴んだり、(b) 覆いなどを自ら取り除いて玩具を探したりする行動がみられるようになる。

2歳頃のかくれんぼでは、子どもが隠れようとするときに (c) 自分の目を手で覆うだけであったり、頭だけ隠して体が鬼から丸見えであったりすることがある。

3歳頃になると、ただ (d) 他の子どもたちのそばで同じ遊びをするだけでなく、遊びの中で言葉や玩具のやりとりが行われるようになってくる。やがて、(e) 目的の共有や役割分担のある遊びがみられるようになってくる。

【語群】

ア 連合遊び	イ 平行遊び	ウ 協同遊び	エ 自己中心性
オ 自己制御	カ 目と手の協応	キ 共鳴動作	ク 対象の永続性
ケ アニミズム			

(組み合わせ)

	a	b	c	d	e
1	カ	エ	ケ	イ	ウ
2	カ	ク	エ	イ	ウ
3	カ	ク	エ	オ	ア
4	キ	オ	カ	イ	ア
5	キ	カ	ケ	オ	ウ

問3 次の文は、アタッチメント（愛着）の特徴に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 母子間の生得的な関係である。
- B 子どもの気質によってのみアタッチメントの質が決定する。
- C 虐待関係にある養育者と子どもの間にはアタッチメントは全く成立しない。
- D 子どもと周囲の人々の関係性の変化によりアタッチメントの質は変化し得る。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	×
3	×	○	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	×	○

問4 次の文は、発達に関する記述である。( A )～( D )にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

ハヴィガースト(Havighurst, R.J.)は、( A )の心理社会的発達理論の影響を受けて、人が生涯における各時期、つまり( B )において達成すべき事柄を( C )という概念として考案し、( D )の設定に役立てようとした。

【語群】

ア エリクソン (Erikson, E.H.)	イ ピアジェ (Piaget, J.)
ウ 発達領域	エ 発達段階
オ 発達課題	カ 教育目標

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | ウ | オ | カ |
| 2 | ア | エ | オ | カ |
| 3 | ア | エ | カ | オ |
| 4 | イ | ウ | オ | カ |
| 5 | イ | ウ | カ | オ |

問5 次の文は、子育て支援に関する記述である。( A )～( E )にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

昨今は、地域社会における人のつながりが( A )し、養育者の( B )が問題となっている。専門家による相談事業だけでなく、( C )などが( D )となり、子育てをしている仲間同士の( E )などが望まれる。

【語群】

ア 安定化	イ 希薄化	ウ 自立	エ 孤立
オ ベビーシッター	カ 子育てサークル	キ 自助グループ	
ク カウンセラー役	ケ ピア・サポート	コ グリーフ・ワーク	

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | ウ | オ | ク | コ |
| 2 | ア | エ | カ | キ | ケ |
| 3 | イ | エ | オ | ク | ケ |
| 4 | イ | エ | カ | キ | ケ |
| 5 | イ | エ | カ | キ | コ |

問6 次の文は、子どもの心の病気に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 小さな子どものパニック障害は、パニック発作だけでなく、かんしゃくや逃避などの形をとる場合もある。
- B 選択性緘黙（場面緘黙）は、話す能力はあるのに、場面によってわざと話さないことである。
- C 子どものうつ症状は、イライラ・怒りっぽさ・過眠・過食といった形で表出されることが多い。
- D 子どものストレスは、身体症状に現れやすい。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	○	×
5	×	×	○	○

問7 次の文は、保育所保育における養護と教育に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保育所における保育は、養護及び教育を一体的に行うことをその特性とする。
- B 養護は、子どもの状況に応じて保育士が適切に行うものであり、教育は、子どもの自発的、主体的な活動を保育士が援助するものである。
- C 養護と教育の間には、明確な境界がある。
- D 一般に、子どもの年齢が低い方が養護の比重が大きく、年齢が上がるにつれ、教育の比重が増えてくる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	○	×	×	×
5	×	×	○	○



問8 次の文は、保育所や幼稚園等と小学校との連携・接続に関する記述である。

( A ) ～ ( C ) にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

保育所や幼稚園等と小学校とが連携し、幼児期から児童期にかけて、子どもの発達や学びの( A )を保障するために、幼児期に( B )カリキュラムが、小学校では( C )カリキュラムが計画・実践されることが増加してきた。

【語群】

ア 効率化	イ 連続性	ウ アプローチ	エ コア	オ スタート
-------	-------	---------	------	--------

(組み合わせ)

A B C

1 ア ウ エ

2 ア エ オ

3 イ ウ エ

4 イ ウ オ

5 イ オ ウ

問9 次の文は、保育記録に関する記述である。( A )～( D )にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

従来の( A )記録や週日案型記録に加えて、近年、保育マップ型記録や( B )が注目されている。( B )は、文章と( C )などを併用することが多く、特に( D )の子ども同士のやりとりが盛んな遊びを継続的に記録しやすい。

【語群】

ア	日誌型	イ	ドキュメンテーション	ウ	保育要録	エ	写真
オ	指導案	カ	乳児期	キ	幼児期後期		

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | エ | カ |
| 2 | ア | イ | エ | キ |
| 3 | ア | ウ | オ | キ |
| 4 | イ | ウ | エ | カ |
| 5 | イ | ウ | オ | キ |

問 10 次の文は、発達上の問題に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 心身の発達状況に部分的な偏りや全般的な遅れなどがある場合を、非定型発達と呼ぶことがある。
- B 発達上の問題は、一般的に発達の遅れと発達の偏りの視点から評価される。
- C 生活年齢における一般的な発達状態にある場合、発達検査での発達指数はおよそ1となる。
- D 発達検査は、必ず検査者が直接子どもを観察して評価しなければならない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	×	○	○	×
2	×	×	○	×
3	×	×	×	○
4	○	○	×	○
5	○	○	×	×

問 11 次のうち、子どもの発達と発達に影響を与える要因に関する記述として正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A シュテルン (Stern, W.) は、早いうちから階段上りを練習しても、時期を待って適度な発達時期に練習を行っても、習得効果にはあまり差がないことを明らかにした。
- B ゲゼル (Gesell, A.L.) は、レディネスが整うのを待って教育や学習を行うことが重要であるという成熟優位説を主張した。
- C ワトソン (Watson, J.B.) は、健康な 12 人の赤ん坊と彼らを育てる適切な環境があれば、才能など関係なく、医者にも泥棒にも育て上げることができるとして、輻輳説の考え方を主張した。
- D 遺伝の影響が 30%、環境の影響が 70%というような考え方は環境閾値説である。
- E 絶対音感のような形質は、極めて豊かな環境条件が整ったうえで、一定の教育を受けなければ顕在化しない。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 B C
- 3 B E
- 4 C D
- 5 C E

問 12 次のうち、いざこざにおける子ども相互の関わりに関する記述として正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 物の取り合いの発生は、2歳以降である。
- B 3歳児のいざこざの原因には、「イメージのずれ」はない。
- C 発達が進むと、物の取り合いにおいて、先に使っている者が所有権を持つ「先取りの方略」が効果を持つようになってくる。
- D 子どもたちは、言葉の発達とともにイメージを共有し、社会的ルールを使用して解決策を提示するなど、子どもたち同士でいざこざを解消できるようになる。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問 13 次の文は、スキヤモンの発育曲線（発達曲線）に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 身体の諸器官の発育状況を4つの系統に分けて、出生時と比較して、20歳までの増加分を100%としたときの、各年齢での割合をパーセンテージで示したものである。
- B 神経型は脳、脊髄、中枢神経系、末梢神経系などの発育を示す。
- C 一般型は5歳頃には成人の70%程度を示す。
- D リンパ型は12歳頃には成人の倍程度に増加する。
- E 神経型は6歳頃には成人の20%程度を示す。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ | × |
| 3 | × | ○ | ○ | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | × | ○ |

問 14 次のうち、ピアジェ (Piaget, J.) の認知発達理論に関する記述として正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A ピアジェの認知発達理論は、相互作用説の一つである。
- B 認知発達を、単なる知識の増加ととらえた。
- C 行為や認知の枠組みを、スキーマと呼んだ。
- D 既存のスキーマを用いて環境に働きかけることを、「調節」という。
- E 外界の事象に合うようにスキーマを変化させる思考を、「操作」という。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 C D
- 5 D E

問 15 次の【Ⅰ群】の言葉とコミュニケーションの発達に関する記述と、【Ⅱ群】の用語を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 生後2か月頃になると叫喚発声だけでなく、のどの奥から柔らかい声を出すようになる。
- B 大人からやや高めのとーンと抑揚のある声でゆっくりと話しかけられると、乳児の言葉の発達が促される。
- C 大人が対象に指差しをすると、子どももその対象に視線を向ける。
- D 少数の親しい人との対面的なコミュニケーション場面で用いられる言葉である。
- E 自分の頭の中で考えるときの言葉を指す。

【Ⅱ群】

- ア 三項関係
- イ マザリーズ
- ウ 一次的ことば
- エ 内言
- オ クーイング

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | エ | オ | ウ | イ |
| 2 | イ | オ | ア | エ | ウ |
| 3 | オ | イ | ア | ウ | エ |
| 4 | オ | イ | ア | エ | ウ |
| 5 | オ | エ | ウ | イ | ア |

問 16 次の文は、主に学童期に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 一次のことばと二次のことばは、重層的に展開する。
- B ピアジェ (Piaget, J.) は、7、8歳頃以降に行為の意図や動機、平等や因果関係に配慮して判断する自律的道德性の段階へ移行していくとした。
- C ピアジェによれば、形式的操作期に保存概念が獲得される。
- D 小学校低学年には、「ギャング・グループ」と呼ばれる仲間集団が形成される。
- E 小学校中学年以降になると、相手に対する尊敬や共感といった内面的な理由で友人選択をすることが増えてくる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	○	×
2	○	○	×	×	○
3	×	○	○	○	×
4	×	○	○	×	○
5	×	×	○	×	○



問 17 次のうち、エリクソン (Erikson, E. H.) のライフサイクル理論に関する記述として正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A エインズワース (Ainsworth, M. D. S.) の理論に、個人と周りの社会文化的環境の相互作用によって心の発達が生じるという視点を加えた。
- B 誕生から死に至るまでを乳児期から老年期までの6つの段階に分け理論化している。
- C 人は各段階で心理社会的な危機の状態に置かれており、精神的に健康な人生を歩むためには、その危機を乗り越え、各発達段階における課題を達成することとした。
- D 成人期の発達課題として「余暇を充実させること」をあげている。
- E 老年期の心理社会的危機は「統合性 対 絶望」である。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 B C
- 3 C D
- 4 C E
- 5 D E

問 18 次の文のうち、ひとり親家庭等に関する記述として正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 厚生労働省の調査によると、わが国の離婚件数は年々増加しており、そのほとんどが未成年の子どもがいる夫婦である。
- B ひとり親家庭になる原因として最も多いのは、死別である。
- C 離婚前後の夫婦の不仲が続くことが、子どもの発達やその後の適応問題へ影響する可能性がある。
- D 両親の離婚は自分が悪い子だったからなどの誤った認知によって、子どもは不安を抱きやすい傾向がある。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問 19 次の【Ⅰ群】の記憶に関する用語と【Ⅱ群】の記述を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 意味記憶
- B エピソード記憶
- C 短期記憶
- D 手続き的記憶
- E 長期記憶

【Ⅱ群】

- ア 必ずしも言語では明示できないような、何らかの方法や技術に関する情報。
- イ 特定の時間や場所の情報に結びついた個人的な過去の経験に関する記憶。
- ウ 成人の記憶容量は、 $7 \pm 2$ チャンクであるといわれている。
- エ 他者と共有できる一般的な知識。
- オ 半永久的に保持され、必要となった場合には検索され利用可能な記憶。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | オ | エ | ウ |
| 2 | イ | エ | ア | ウ | オ |
| 3 | エ | イ | ウ | ア | オ |
| 4 | エ | イ | ウ | オ | ア |
| 5 | オ | エ | ウ | イ | ア |

問 20 次の文は、保育における観察法に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 一般に自然観察法は、言語的コミュニケーションが行える幼児を研究する場合のみに用いられる方法である。
- B 実験観察法は、保育の観察としては妥当ではない。
- C 自然観察法は、子どもたちの日常の遊びや生活の姿をそのまま観察する方法である。
- D 自然観察法は、他の研究方法と比べて時間や場所の制約を受けることが多い。
- E 自然観察法は、観察者が明確な目的と視点を持たない場合、そこから得られる結果は焦点のぼやけたものになり、有用なものとはなりにくい。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	×	×
2	○	×	○	×	×
3	×	×	○	○	×
4	×	×	○	×	○
5	×	×	×	○	○